



農大二中進路通信

令和5年9月21日(木)
第12号 農二進路指導部

農二プライドを胸に



二学期がスタートしてから、3週間が経とうとしています。2学期が始まるとすぐに模試や小テストがあり、夏休みにどれだけ勉強を頑張ったかが問われました。classiで勉強時間を入力してもらいましたが、勉強している生徒はまめに入力できていましたが、その一方で勉強時間が全然取れなかった生徒は入力を怠る傾向がありました。そうした普段からの取り組みは模試や小テストの結果に影響を与えていたように思えます。過ぎてしまったことは仕方がないので、それについてとやかく言うつもりはありませんが、やらなかった生徒はもう一度「なぜ農大二中」を希望し、入学してきたのかを問うてほしいと思います。さまざまな理由で入学を希望したと思いますが、農大二中としては将来、日本、または世界のリーダーとして活躍できる人材を育てたいと考えております。それには力をつけなければなりません。つまり、今の君たちにとっては学力をつけることです。学校として高みを目指しますが、何もせず勝手に学力がつくわけはありませんし、簡単に高みに登れるわけではありません。まずは自分で自覚をして、行動しなければなりません。夏休み中、一学期に習ったことを復習し、抜けもれをなくすだけでなく、二学期からの予習に取り組んでいる生徒もいました。そのような上を目指す生徒は当然小テストでも結果を残しました。また、一学期 follow up の常連だった生徒が奮起をし、小テストで合格点を出したり、follow up に普段参加をしない生徒を圧倒する結果を出した生徒もいました。人は一瞬で変われます。このままではいけないと思い、「夏休みが勝負！」と思って頑張った成果が出たように思えます。「できない」のと「やらない」のとは違います。ここにいるみんなは高倍率の農大二中の入学を勝ち取ってきた猛者たちですし、できない子は誰一人いないはず。ここにいる全員が「農二プライド」をもって高みを目指してほしいと思います。今後、農大二中がより魅力ある、そして、未来の農大二中生たちが通いたいと思ってくれる学校になるかどうかは君たち次第だと思います。一期生として「自覚」と「プライド」をもって二学期からの生活を送ってほしいと思います。しっかりね！



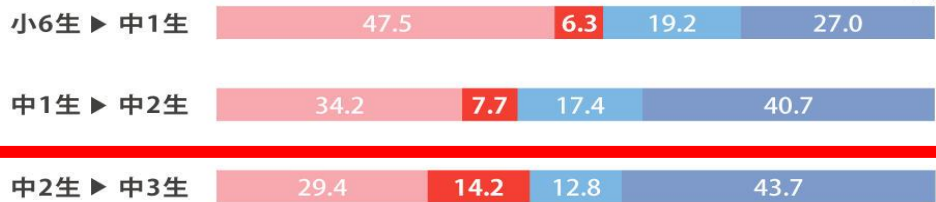
勉強は好きですか???

農大二中生は勉強が好きという生徒が多くいると思います。それは小学校時代それなりに勉強ができて、クラスの上位にいたからだと思います。しかし、最近はどうでしょうか。段々と勉強が嫌いになる生徒も出てきたのではないのでしょうか。勉強嫌いが多くなるのが中学生一年生と言われています。ベネッセ教育総合研究所の親子パネル調査によると、小学6年生から中学1年生の1年間で、勉強が「好き」から「嫌い」に変わった子どもは全体の約20%と言う結果になり、中学2年生では、勉強が嫌いな子どもが全体の約60%を占めています。
(出典:東京大学社会科学研究所×ベネッセ教育総合研究所「親子パネル調査」に見る、勉強が「嫌いから好き」になった中学生の特徴とは)

「勉強の好き嫌い」の1年間の変化

1年間の変化

■「好き」をキープ ■「嫌い」から「好き」に変わった ■「好き」から「嫌い」に変わった ■「嫌い」のまま



※「とても好き」「まあ好き」を「好き」、「あまり好きではない」「まったく好きではない」を「嫌い」として、2015年～2016年の変化を示している。無回答・不明の人は除いている。

https://www.benesse.co.jp/zemi/media/article/chu_study_motivation/

「好き」から「嫌い」に変わる生徒の割合と「嫌い」から「好き」になる割合を比べてみたらわかると思いますが、一度嫌いになるとなかなか好きにはなりません。中2までに約6割の生徒が勉強が嫌いになってしまいます。この理由は教科数が多くなり学習内容が小学校に比べ格段に難しくなるからです。それを君たちは肌で実感していることでしょう。とはいえ、「嫌い」から「好き」になる生徒もいますし、「好き」をキープしている生徒もいます。勉強が「好き」だから、「できる」ようになるのではなく、勉強が「できる」から「好き」になるのです。「わかる！」が「面白い！」に変わり、どんどん勉強するようになる。そうすると「できる」が増えていく。「できる」が「満足感」「達成感」に変わり、どんどん「好き」になっていきます。できるようになるためには、日々学習を行うことが大切です。とはいえ、classi の書き込みを見ていると「やる気が出ない」「やらなければいけないことは分かっているけど・・・」と頭ではわかっているけども、行動に移せない生徒たちもいます。ではどうしたらやる気ができるのか？先ほどのサイトにやる気をだす方法が載っていましたので参考にしながら、いくつか紹介したいと思います。

①勉強環境を整える

人によって集中できる環境が違います。にぎやかな場所だったり、静かな場所だったり、机の上の環境や照明、全体の雰囲気など様々です。いろいろ試して自分が勉強に集中できる環境、やる気が出る環境を探すことです。

②目標設定をする

もちろん、中間テストや期末テストのような大きなテストで〇〇点とるという明確な目標があってもいいですし、小テストや単元テストで合格点を取るというスモールゴールを設定しても構いません。また、日々の学習の中で〇〇ページやる！とか〇〇時間やる！という過程での目標を設定することは大切です。小さな目標を達成していく中で大きな目標をも達成することができます。なので、大きなゴールと小さなゴールを設定してみてください。

③まず動いてみる

やる気がでないときも何か一番やりやすいものから始めるとやる気のエンジンがかかってきます。ただ、机でやるだけ勉強ではありません。ウォーキングしながら単語の音声を聞いて覚えるのもいいでしょう。電車の中でスタディサプリ English や classi 学習を行うのもいいでしょう。まずは何か始めてみよう。

④こまめな休憩をとる

集中力はそんなに長く続きません。45分～1時間やったら必ず15分くらいの休憩をとりましょう。同じ科目をずっとやってもなかなかやる気が持続しないことがあります。休憩後は前の科目が途中でいいので科目を変えて勉強してみると脳の気分転換になるでしょう。それが終わったらまたもとの科目に戻した方が効率がよいと言われています。

ほかにもいろいろ方法はあるとは思いますが、要はやる気が起きればよいのです。勉強にしっかり集中して取り組めればよいのです。自分なりでいいので自分の学習方法が考えて実践してください。

NI 探究開始

NI 探究1の班分けが行われ、9月14日(木)に班のメンバーとの顔合わせ、自己紹介、そして初めての話し合いが行われました。生徒からは、

- ・今日、NI 探究があって、班の人たちと協力して、たくさんいろんなことを調べました。
- ・今日初めて NI 探求で班のグループに分かれて話し合いをしました。まだ課題についての情報やテーマについてあまり決まっていけど、これからの探究活動が楽しみです。
- ・NI 探求では、同じテーマを選んだ人と集まって、自己紹介と調べたことを共有した。新しい友達ができたのでよかった。



生徒たちの感想であったように今まで話したことのない他クラスの生徒との新たな出会いに緊張やとまどいはあったものの新鮮な気持ちで探究の話し合いに臨んでいたようです。今後自分たちの課題を決めていくわけですが、この日は夏休みにそれぞれ調べてきた高崎市の課題について共有しました。まずは課題についてしっかり調べ、課題の本質を捉えてほしいと思います。皆さんの自由な発想から、0を1にする「想像力」「創造力」に期待します

中間テストまで約2週間です。下の予定表にもあるとおり、10月3日(火)～5日(木)中間テストが行われます。今回は中間テストなので3日間で行われます。2学期が始まってから、国語、数学、英語の3教科に力を注いできたと思いますが、前回の中間テストでの反省を活かして、そろそろ理科、社会にも手をつけ始めた方がよいでしょう。やってできないのとやらないでできないのは全く違います。さあ、がんばって！

今後の予定

10月3日(火)～5日(木)	中間テスト
10月12日(木)	体育祭
10月17日(火)	NI ワークショップ 農大より志和地先生
11月8日(水)	総合学習ワークショップ 農大より江口先生
11月13日(月)	合唱コンクール
11月16日(木)	きのこ校外研修
11月28日(火)～12月1日(金)	期末テスト